

■「あたらしい転職はじめました」

私たちは、全国でオフィスビルや商業施設等の総合的な運営・管理を行っています。事業が全国に及ぶことから、転職の辞令を受ける社員も少なくありません。しかし、様々な事情により転職ができない社員にとって、転職がキャリアを諦めざるを得ない一つのきっかけとなり、優秀な社員の雇用継続の障壁となるケースも発生していました。特に女性社員に焦点を当てると、転職ができない理由の多くは、出産・育児等の女性ならではのライフイベントでした。そこで私たちは、女性に限らず、多様な人材が継続したキャリアを選択できることを目指し、「あたらしい転職」に取り組み始めました。

SDGs
× 人権
× 企業

(第27回)

三菱地所
プロパティ
マネジメント
株式会社

本取組は、本来であれば異動により転居を必要とするエリアの業務も、転居をせず遠隔で行うようにすること。事務作業や打合せ等遠隔でも可能な業務はリモートで対応し、現地に行かなくてはできない業務は出張で対応。「転居を伴わない転職」という働き方の選択肢を増やすことで、社員のキャリア継続を目指しています。

最初の実証実験は2019年秋。マネージャー未満の営業管理系総合職の3名が1か月間、実際に大阪・名古屋に住み、支店事務所に勤務をし、東京の業務を実施。実証実験をするに当たり、会議のオンライン化、書類の電子化、業務分担の見直し、お客様への説明

働き方の選択肢が増えれば 転職もライフイベントも両立できる

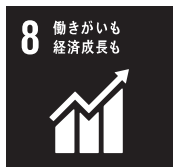
三菱地所プロパティマネジメント 株式会社のプロフィール

1991年に設立した、三菱地所グループにおける中核企業。

丸ビル・新丸ビルを始めとする大型複合施設や大規模商業施設、不動産流動化物件等を含む全国主要都市の物件における総合的な運営管理を手掛けています。受託物件のタイプ、規模、エリアなど幅広く業務を展開しています。



新世代エイジョカレッジ（エイカレ）は異業種で営業変革と女性営業職の育成を目指すプロジェクト。本取組は、エイカレ2019フォーラム部門・大賞を受賞した。



を重ねました。

不動産という動かない商品を管理する業務だからこそ、「現場重視」が根強く残っている社風でしたが、実験により、当初の想像を大きく超える全体の8割以上の業務がリモートで対応可能という結果に。また、現地で行かれない業務との線引きが明確になりました。さらに、2020年度には、人事制度化を見据え、実験対象者を支店社員へと拡大し、東京に住み、東京の事務所に勤務をしながら支店の業務を行う実験を実施しました。結果は2019年度とほぼ同様の結果となり、数值的に本取組の実現可能性が見えてきました。一方、現場から離れて働くため、得る情報量に差が生じること、上司や同僚との日頃のコミュニケーションから得る知識、経験も重要であることに気付き、リアルなつながりの大切さと、それを提供できる「オフィス」という、私たちが取り扱う商品の重要性も再認識しました。

■今後の取組

2021年4月、本取組の一部を制度化しました。今年度は他利用パターン制度化に向けて、職種・職位を広げて実証実験を継続していきます。

また、配偶者の転職に帯同するため、退職を検討していた社員が、本制度の利用を開始しています。本制度を利用することで、転居先の東北から東京の業務を行い、キャリア継続を実現しています。

今後は、幅広い社員が活用できる制度にすべく、継続して実験・検証を進め、より働きやすく、働き甲斐のある組織へと発展していきたいと考えています。